

III. ケララ州森林環境

1. 自然環境の概要

1-1 自然環境の概要

1-1-1 生物多様性ホットスポット

インドの原生林植生は、東西ヒマラヤ山地、アンダマン及びニコバルの島嶼部およびインド半島部の西ガーツに残存している。インド南西端に位置するケララ州は、インド半島部の原生林、動植物植生が残存する西ガーツの南端に当たり、ホットスポットに指定されている。次ページにケララ州の 55 の植物の絶滅危惧種リストを掲載する。

インド半島部固有種が唯一残される西ガーツの自然動植物植生を保全するためにケララ州内で 15 箇所の野生動植物

保護区 (Wildlife Sanctuary) と国立公園 (National Park) を設置し保護に努めている¹。同保護区、自然公園の面積は、州面積の約 6%、2,679.88 km²である。一方、写真 III-1 は、トリチュールとコーチンの間に位置するヒンズー教のお寺が所有する「聖なる森 (Sacred Grove)」である。

「聖なる森」は、代表的な熱帯湿潤林であり豊富な動植物の多様性を育んだが、過去 100 年の間に人口圧迫で縮小を続け、現在ケララ州で 500ha、森林被覆面積の 0.05%に過ぎない。

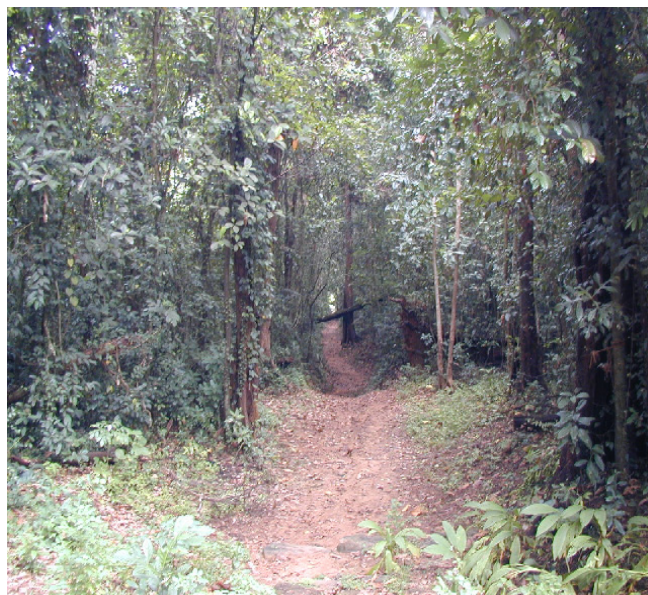


写真 III-1 カリ寺の神聖な森(熱帯湿潤天然林、ケララ州)

¹ 1999年3月末現在。